

牛久：学校周辺に見る自然

第22号 ひたち野うしく小(、ひたち野うしく中)

2020年5月23日発行

＜ 晩春の校庭の植物 ～③草本(合弁花類)その1. キク科 ＞

こんにちは。開校11年目のひたち野うしく小校庭、4月末～5月の植物。今回は、合弁花類の草です。解説は主に今年度前号までに登場しなかったものとまだ花が咲いてなかったものを中心にし、登場済みの花については写真と名前を紹介くらいにしたいと思います。まずは、キク科の仲間から。



違いを見つけよう。ハハコグサ(左)とチチコグサモドキ(中)、ウラジロチチコグサ(右)。

ハハコグサの仲間が、3種類咲いていました。ハハコグサは果実ができたものが多かったです。よく似た仲間のチチコグサモドキとウラジロチチコグサもありました。どこが違うでしょう？



これもよく似た仲間のハルジオンとヒメジオン、どこが違うでしょう？写真だけだと、ちょっとむずかしいね。同じ部分を、比べてみるといいよ。花を比べてみよう。花びらのはばや枚数は？葉はどうか？葉の形、つけ根のようすは？小学生の皆さんには、正確な名前をおぼえるよりもまず、それぞれの違いを見分ける目を養ってほしいなと思います。

ハルジオン(左)とヒメジオン(右)。どこが違う？



ノボロギクも、花より果実が多く見られるようになりました。白い綿毛のついた、タネを飛ばしています。キク科の仲間は、綿毛でタネを飛ばすものが多いですね。タンポポやノゲシもそうです。いま咲いている、ハルジオンやヒメジオンはどうでしょう？見つけたら、息を吹きかけて飛ばしてみましよう。

白い綿毛のついたタネを飛ばし始めた、ノボロギク。



背の高い、アザミ
に似た花がありました。
キツネアザミ
です。名前の由来に
は、アザミに似てい
るけど違い、狐にだ
まされているようだ
からという説などあ
るようです。が、ど
こがアザミと違う？

アザミに似た花をつけ
るが、アザミの仲間
ではないキツネアザミ。



ノゲシ(左)とオニノゲシ(右)。ノゲシには蜜を吸うハチが(中上)、オニノゲシにはハエがいました(中下)。



ノゲシは主に春に咲くのでハル
ノゲシともよばれ、日本にもと
からある植物ですが、オニノゲシは
ヨーロッパからの帰化植物で、春か
ら夏によく咲いています。

タンポポも日本のタンポポは春に
だけ咲きますが、ヨーロッパ原産の
セイヨウタンポポは、春から秋ま
で咲きます。ブタナも咲いていま
したが、タンポポとの違いは？

【理科支援員：宮内】

セイヨウタンポポ(左)とブタナ(右)。
どこが違うだろう？